

主催：秦野商工会議所工業部会・東海大学・秦野市 共催：秦野商工会議所工業部会令和経営分科会・東海大学総合科学技術研究所



I. 講演会

「～創・省・煉エネ社会の実現に向けて～ 革新的エネルギー変換技術の実用化と産学連携について」

現在のエネルギー事情を取り巻く状況は、SDGs や COP26 等の世界的な潮流により、脱炭素化に向けた動きが加速し、これに対応するための社会・経済システムへの変換が求められています。

東海大学では、環境エネルギー問題の解決に向け、モビリティ技術に関する新規・独創的な研究開発の推進体制(コンソーシアム)を設立し、地域企業とともにものづくりをネクストステージに押し上げる取り組みを進めています。今回は、**コンソーシアムの全体像**と熱・音波を利用したエネルギー変換が特徴の**熱音響デバイス**について、プロトタイプの見学を交えながら講演いただきます。

第1部

「メソ領域における『流れ』の

見える化コンソーシアムについて」

【講師】

東海大学 学長室(研究推進担当) 部長
総合科学技術研究所
所長・教授

いわもり さとる
岩森 暁 氏



第2部

「多様な熱源から発電や冷却が行える可能性、熱音響現象を応用した装置について」

【講師】

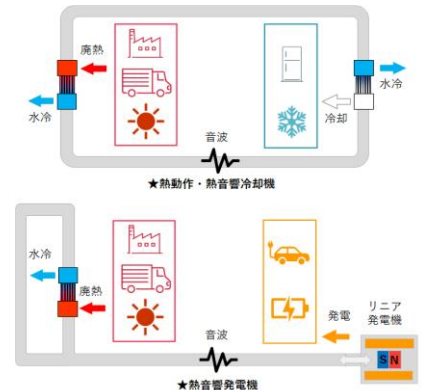
東海大学 総合科学技術研究所
教授

はせがわ しんや
長谷川 真也 氏



講演概要

現在、化石燃料由来の廃熱の多くは、未利用のまま、大気中に捨てられています。これらの未利用熱を再利用し、発電や冷却に利用するために、熱音響現象に関する研究を行っています。熱音響現象は、音を介することで、熱と仕事の相互変換が行われる現象です。熱音響現象を応用することで、熱を音響パワーに変換する熱音響機関や、音響パワーによって熱を低温から高温にくみ上げる、熱音響冷却機を実現することができます。熱音響現象を応用した装置は、エネルギー変換部分に可動部品を必要としないため、メンテナンスフリー、ローコストであるという特徴を有します。本講演では東海大学における熱音響装置開発状況やプロトタイプの紹介を行います。



II. 東海大学 分析装置見学会

東海大学では、保有している分析装置等について、学内利用がない時間帯は、外部（事業者等）の利用を受け入れています。利用に当たっては、装置利用講習会の受講が必要となりますが、自社で分析装置等を導入・維持するよりも低い費用負担で利用することができます。

日時 令和6年3月14日(木) 午後2時～4時30分

場所 東海大学湘南キャンパス 17号館2階 ネクサスホール (会場案内図は裏面をご確認ください)

定員 30名 (定員になり次第締切ります)

申込 ①FAX: 下記申込書にご記入の上、秦野商工会議所事務局 (担当: 地域産業振興課) へお申込み下さい。

TEL: 0463-81-1355 FAX: 0463-82-0273 ※FAX 番号をお間違えないようお願いいたします。

②PC・スマホ: 秦野商工会議所ホームページ「セミナー・研修会」コーナー、研修会申込フォームをご利用ください。(https://www.hadano-cci.or.jp)



F A X 送信票

「革新的エネルギー変換技術の実用化と産学連携について」・「分析装置見学会」(3/14) 参加申込書

事業所名		TEL	
参加者氏名	1.	2.	

